

## 社会を明るくする運動



役場を訪れた更生保護女性会のみなさん

更生保護女性会では7月1日、「社会を明るくする運動」で山口ゆわ子会長ら役員6人が役場を訪れ、地域ぐるみでの非行・犯罪防止の推進を呼びかけました。

同会ではこのほか村内小中学校や保育園、村の施設など全10か所をまわり、手作りの和紙人形や雑巾などを配りました。

## 千年の森で奥寺杯サッカー大会

横浜FCの奥寺康彦会長の名を冠するサッカー大会、「奥寺杯サッカーフェスティバルIN昭和村」が7月25日から27日の3日間、千年の森J-Wingsで行われました。

大会に参加したのはFC昭和のほか、県内、埼玉県や栃木県など近隣の少年サッカークラブ10チーム。

大会では、二つのブロックで予選リーグを行い、上位チームによる決勝トーナメントと下位チームによる下位トーナメントで順位を争いました。

大会結果 ▶優勝：新座片山FC少年団（埼玉県）、▶準優勝：ファナティコス（群馬県）、▶第三位：福原サッカークラブ（埼玉県）



ボールを競り合う子どもたち（FC昭和）



新座片山FCとファナティコスによる決勝戦

## 強力打線で糸井地区が連覇



熱戦が繰り広げられた社会人地区対抗野球大会

第32回社会人地区対抗野球大会が7月19日、総合運動公園野球場などで開催されました。

大会には、村内8地区から総勢150人が参加。優勝を目指す各地区の選手が、熱戦を繰り広げました。

試合では森下地区が準優勝と大躍進。毎回一点差というきわどい試合を勝ち進み、決勝まで駒を進めました。

見事優勝を勝ち取ったのは糸井地区。強力打線で得点を積み重ねた糸井地区は、他を寄せ付けない強さを見せ、昨年に引き続き大会二連覇を成し遂げました。

## 雨にも負けず元気よく

第一・子育両保育園では7月24日、夕涼み会を開催しました。

午後6時ごろより降り出した雨のため、ホールや各教室での開催となってしまいましたが、子どもたちは元気よく踊りやおみこしを披露。

子育保育園では、園児たちがおみこしを担いで練り歩き、「わっしょい、わっしょい」という元気なかけ声に、ホールに集まった保護者らは一緒になってかけ声をあげていました。



ホール内を元気に練り歩く園児たち（子育保育園）

## 公民館で夏の親子映画まつり



上映中のスクリーンに見入る参加者

真夏の夜に親子で思い出を作ってもらおうと、村公民館が主催する夏の親子映画まつりが7月22日、公民館多目的ホールで開催されました。

上映されたのは長編アニメ映画「河童のクゥと夏休み」。

友情・家族・思いやりをテーマにしたこの作品を、およそ130人の親子らが鑑賞。スクリーンに映し出される映像に真剣に見入っていました。

作品の上映後、映画を鑑賞した子どもたちからは、口々に「おもしろかった」との感想が聞かれました。

## 第1回早期療育講演会を実施

第1回早期療育講演会が7月4日、公民館多目的ホールで行われました。

講師に奈良女子大学浜田寿美男教授を招き、「障害と子どもたちのいきるかたち」と題して行われた講演会では、121人が浜田教授の話に耳を傾けました。

村教育委員会では、文部科学省の「発達障害早期総合支援モデル事業」の委嘱を受け、平成20年度から保育園や小学校と連携し、乳幼児健診から就学までの一貫した総合支援体制の取り組みを行っています。



講師の浜田寿美男教授



講演に耳を傾ける参加者

## キノコの駒打ちに挑戦



小林さんの指導を受けながら原木に穴あけ

南小学校では6月26日、4年生の児童39人がしいたけの駒打ちに挑戦。

村しいたけ生産組合から梶山功夫組合長（入原下）と小林孝一郎さん（松ノ木平第二）の2人が駒打ちのお手伝いに駆けつけました。

児童は小林さんの指導を受けながら、コナラの原木にドリルで穴をあけ、しいたけの駒打ちを行いました。

同校では、緑の少年団活動の一環としてしいたけの駒打ちを行い今年で3年目。毎年4年生が体験しています。今回打ち込んだしいたけの収穫は来年の秋ごろとのこと。



効果的な歯みがきの方法を練習

## 体の健康はお口から

椽久保南部のらくらく筋トレでは7月23日、らくらく筋トレ初級を終了し、「口腔教室」を開催しました。

筋力が衰えると、飲み込む力も同時に衰え、誤って気管に食べ物を飲み込み、「誤えん性肺炎」を起こす危険性が高くなります。

そのため、口腔教室では、「むすんでひらいて」のフレーズで口や舌を動かす口腔体操を行いました。

このほか、参加者は虫歯菌を見たり入れ歯の手入れやブラッシングの話の聞き、専用のガムを使った噛む力のテストなどを行いました。